

チベットの拘束者リスト 2008.3～



ワンドウ(Wangdue)

41才、AIDS対策啓蒙活動家、ラサ近郊のタクツェ出身、2008年3月14日逮捕、無期懲役 政治的権利剥奪無期



ガワン・フンツォク(Ngawang Phuntsok)

32歳、カンゼ・ブンシュル村出身、2008年6月18日、たった一人でダライ・ラマの写真を掲げ抗議活動を実施し逮捕、6ヶ月間拘留所に留置された後、2009年1月20日刑期3年の判決、成都から70キロのWoemin Samisa (Ch)刑務所に収容



ジグメ・グリ(Jigme guri)

42歳、サンチュ、ラブラン僧院、2008年3月22日に3月14日のデモを首謀したとして逮捕、拷問を受け2ヶ月後治療のために釈放されたがVOA、AP通信などの取材に協力、2008年11月4日再逮捕、行方不明

5月3日 釈放



ドンドップ・ワンチェン(Dhondup Wangchen)

34歳、アムド・パイエン・ツォシャル出身、“LEAVING FEAR BEHIND”(恐怖を乗り越えて)の製作者、2008年3月26日に青海省同徳で逮捕、西寧近郊の二十里鋪拘留所に3ヶ月収容、その後西寧市内の工商賓館に移され、非公式に軟禁、最後に目撃されたのは2008年6月11日



ロブサン・ルンドゥブ(Lobsang Lhundup)

39才、カンゼ・リタン・ゲモ村出身、リタン・ネコル僧院、2009年2月15日リタンで、たった一人で平和的な抗議デモを行い逮捕、「ダライ・ラマ法王万歳」「チベット独立」「ダライ・ラマ法王の速やかな帰還を」「今年のロサルはない」を叫んだ。現在、リタン県拘留センターに拘束



ソナム・テンパ(Sonam Tenpa)

29才、カンゼ・リタン出身、2009年2月16日、リタンの市場で行われた15人の抗議デモを率い逮捕、その際の暴行で重傷を負う前日にリタンで一人でデモをしたロブサン・ルンドゥブの弟



ロブサン・テンジン(Lobsang Tenzin)

21才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕、その際の暴行で重傷を負う



ジャムヤン・パルデン(Jamyang Palden)

41才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕



アド・ギャルツェン(Adho Gyaltzen)

41才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕



チャンパ・トメ(Jampa Thokmey)

30才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕



ゲレク・クンガ(Gelek Kunga)

26才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕されたが消息不明となり、行方と状態を危惧されている。



ロブサン・ベンデ(Lobsang Phende)

37才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕



ゲンドゥウ・チュェペル(Gedun Choephel)

30才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕



ロブサン・タルギェル(Lobsang Dhargyal)

38才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕



チャンパ・ツェリン(Jampa Tsering)

28才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕



チャンパ・ユンテン(Jampa Yonten)

30才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕



テンジン・サンギェ(Tenzin Sanggye)

29才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕



ロブサン・タシ(Lobsang Tashi)

21才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕



ロブサン・ワンチュク(Lobsang Wangchuk)

30才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕



ロブサン・ルンドゥブ(Lobsang Lhundup)

38才、カンゼの元遊牧民、2009年2月16日、リタンの市場で15人の抗議デモを行い逮捕



クンチョク・ツェペル・ゴベイ・ツァン(Kunchok Tsephel Gopey)

39歳、チベットの文化保持を目的とするウェブサイト“Chomei”(チベット語で「バターランプの意」)の管理者、甘肅省甘南マチュに居住、2009年2月26日に自宅捜索を受け逮捕



ペンキ(Penkyi)

21歳、サキヤ県、ドクラ地区ノルブ村出身、2008年3月14日ラサで逮捕、罪状は「放火」、2009年4月21日、執行猶予2年の死刑判決を受ける



ペンキ(Penkyi)

23歳、ニエム県マルキャン地区タントゥ村出身、2008年3月14日ラサで逮捕、罪状は「放火」、2009年4月21日、終身刑の判決を受ける



チメ・ラモ(Chime Lhamo)

20歳、シガツェ ナムリン地区ショルトゥ村出身、2008年3月14日ラサで逮捕、罪状は「放火」、2009年4月21日、懲役10年の判決を受ける



タペー(Tapey)

25～30歳 四川省アバ県、キルティ寺の僧侶 2009年2月27日、町の中心部でチベット国旗とダライ・ラマ法王の写真を掲げ自らの身に火を放った。兵士が3発発砲し成都の病院に連れ去った。当局は銃撃の証拠を消すため両足の切断を強要したが本人は拒否。容体が回復してもなお解放されていない。



タシ・ドンドップ(Tashi Dhondup)

27歳、青海省マンラ(貴南)県の政府職員、2009年3月12日の反政府活動に参加したとして逮捕され、コンピュータと携帯電話が没収された。マンラ県公安拘留所に勾留されている

4月10日頃、釈放



ジンパ・ギャツォ(Jinpa Gyatso)

25歳、青海省マンラ(貴南)県出身、前述のタシ・ドンドップの弟、西寧の学生、行方不明のままであり兄とともに逮捕された可能性が高い

4月10日頃、釈放



ゴログ・ジグメ(Golog Jigme)

40歳、アムドのラブラン僧院、“LEAVING FEAR BEHIND”(恐怖を乗り越えて)取材でドンドップ・ワンチェンの助手を務めた。2008年3月23日に騒乱の最中に逮捕され、その後10月15日に釈放されたが、2009年3月10日に再逮捕

4月20日 釈放